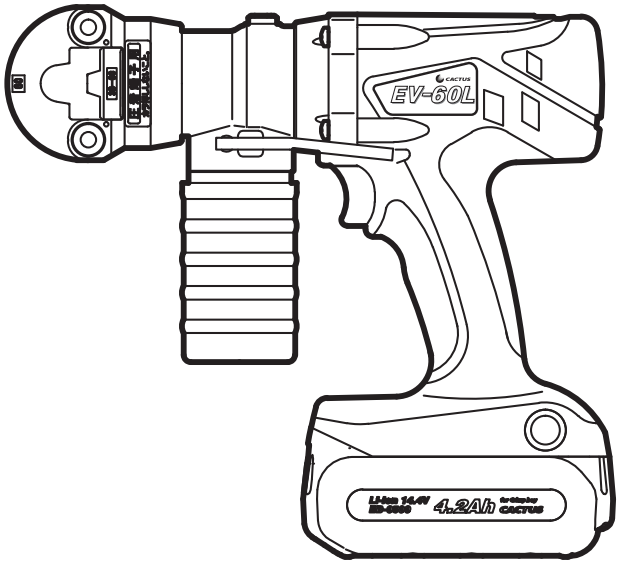
コードレス電動油圧式圧着工具

カクタス クリンプボーイ

EV-60L

取扱説明書



～目 次～

安全上の注意　→表紙裏～④P
各部の名称　→⑤P
準備　→⑥P
充電のしかた　→⑦P
ランプの表示について　→⑧P
ご使用前の注意　→⑨P
準備　→⑩P
操作方法　→⑪,⑫P
作業終了後に　→⑬P
保守･点検　→⑭P
電池パックの取扱い･寿命　→⑮P
仕様･標準付属品　→⑯P
故障かな？と思ったとき　→⑰P
アフターサービスについて　→裏表紙

お願い

・このたびはカクタス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　ご使用前に必ず取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しく安全にお使い下さい。
・なお、この取扱説明書はお使いになる方がいつでもお読み頂ける所に必ず保管して下さい。

CACTUS

図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、注意事項や参照項目などを一目で理解していただけるよう図記号を使用しています。
これらの記号の意味を十分理解して、より安全な作業ができるようこの取扱説明書および製品の表示をご活用ください。

【危険に対する図記号】
危険に対する図記号は、警告と注意と危険度に応じて使い分けています。

⚠危 険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注 意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■用語説明
本文中において、次のように用語を略しております。
・工具……コードレス電動油圧式圧着工具「クリンプボーイEV60L」一式を指します。
・ダイスセット…押ダイス、受けダイスをセットしたものを指します。

⚠ 危険

- **当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。**
  改造した電池パック（分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しない。
- **電池パックは、火への投入、加熱をしない。**
- **電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。**
- **電池パックの端子部を金属などで接触させない。**
- **電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しない。**
- **電池パックや本体を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。**
- **劣化した電池パックは使用しない。**
  発熱・発火・破裂のおそれがあります。

- **電池パックは専用充電器以外では充電しない。**
  電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

- **本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。**
  取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

安全上のご注意（警告）

- **ご使用の前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警告

- **用途以外には使用しないで下さい。**
  取扱説明書に指定された用途以外には使用しないでください。
  製品の能力を超えた無理な使用はしないでください。
- **正しく充電してください。**
  充電器は定格表示してある電源で使用してください。
  直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
  電池パックは換気のよい場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。
  使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
- **電源コードプラグを破損するようなことはしない。（傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない）**
  傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
  コードやプラグは定期的に点検し、破損してる場合は販売店にご相談ください。
- **換気のよくない場所で充電しない**
- **充電中、電池パックや充電器を布などで覆わない。**
- **直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。**
- **可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。**
  発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
- **感電に注意してください。**
  濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- **本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。**
  身体に害を及ぼすおそれがあります。
- **本体または充電器の風穴をふさがない。**
  やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
- **モーター作動中は圧着部（端子、ダイス部など）に絶対に触れないでください。**
  モーター作動中に不用意に手を添えたり、押さえたりしないでください。

安全上のご注意（警告）

- **指定の端子・スリーブ以外には使用しない。**
  圧着不良で火災などのおそれがあります。
- **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  充電工具、充電器、電池パックは雨中で使用したり、湿ったまたは濡れた場所や手で使用しないでください。
- **本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。**
- **作業直後は先端工具類や切りくず・電池端子に触れない。**
  高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- **ヘッド部を人に向けて使用しない。**
  けがのおそれがあります。
- **活線作業に使用しないでください。**
  活線（通電している電線）用工具ではありません。
  作業場の周囲状況も考慮してください。
  充電工具、充電器、電池パックは雨中で使用したり、湿ったまたは濡れた場所や手で使用しないでください。
  作業場は十分に明るくしてください。
  可燃性の液体やガスのあるところで使用したり、充電したりしないでください。
- **次の場合は、電池パックを本体から抜いてください。**
  長時間使用しない場合。
  ダイスを交換する場合。
  その他危険が予想される場合。
- **不意な始動は避けてください。**
  スイッチに指をかけて運ばないでください。
  電池パックを挿しこむ前にスイッチが切れていることを確認してください。
- **指定のダイスや付属品を使用してください。**
  この取扱説明書、および弊社カタログに記載されているダイスや、付属品以外のものは使用しないでください。
- **使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。**
- **密閉された狭い場所で使用しないでください。**
  発煙、発火、破裂などの恐れがあります。
- **屋外で充電中のとき、雷が鳴り始めたら使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  落雷による火災や感電の恐れがあります。

安全上のご注意（注意）

⚠ 注意

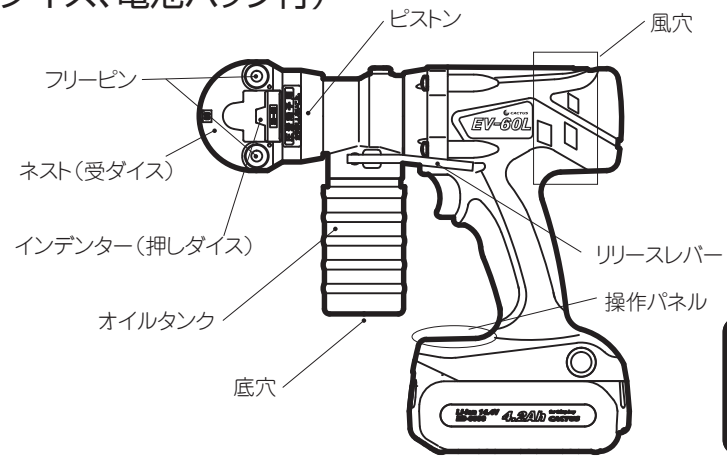
- **作業場はいつもきれいに保ってください。**
  ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- **作業者以外、作業場へ近づけないでください。**
  作業者以外、工具や充電器のコードに触れさせないでください。
  作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- **指定された用途以外に使用しない。**
  けがをするおそれがあります。
- **取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。**
  守らないと事故やけがのおそれがあります。
- **屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。**
  守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
  使用前にコードの破損が無いか点検してから使用してください。
- **屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。**
  守らないと滑ってけがの原因になります。
- **高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめる。**
  材料や本体などの落花による事故のおそれがあります。
- **可動部のすき間に指を入れない。**
  けがのおそれがあります。
- **メスダイス開閉時にメスダイスと本体の間に指をはさまないように注意する。**
  けがのおそれがあります。
- **電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。**
  守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。
- **オイルタンクの底あなをふさがない。**
- **本体のネジをゆるめない。**
  規定の油圧力（出力）が出ず、圧着不良や本体の故障のおそれがあります。
- **本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。**
  本体や電池パックが落下して事故となるおそれがあります。
  また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- **オイルのにじみがないか確認する。**

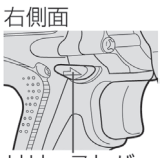
安全上のご注意（注意）

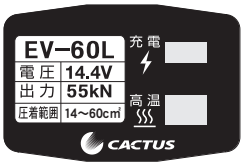
- **使用前に、本体、電池パック、充電器およびアタッチメントやその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。**
  守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
- **使用しない場合は安全な場所へ保管してください。**
  乾燥した場所で子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
  工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
- **無理して使用しないでください。**
  安全に能率よく作業するために能力以上の使用はしないでください。
  モーターがロックしたり、極端に遅くなったりするような使い方はしないでください。
- **きちんとした服装で作業してください。**
  だぶだぶの衣類やネックレスなどの装身具を着用したままで作業をしないでください。引き込まれる恐れがあります。
  長い髪は帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することが無いように、充電する場所に注意してください。
- **端子に合ったダイスを使用してください。**
  合わないダイスで作業すると接続不良ばかりでなく、工具本体やダイスが故障または破損する可能性があります。
- **無理な姿勢で作業をしない。**
  転倒してけがをするおそれがあります。
  常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- **疲れている場合は使用しない。**
  事故やけがのおそれがあります。
- **本体を放り投げない。**
  故障のおそれがあります。
- **カラ押しをしない。**
  故障のおそれがあります。

各部の名称

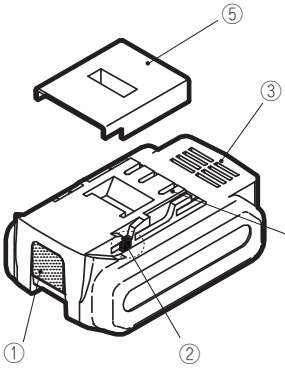
◎EV-60L本体（ダイス、電池パック付）





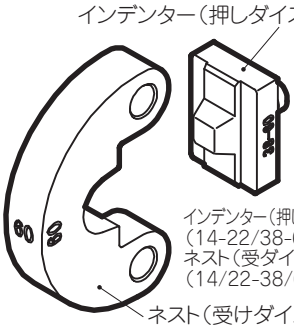


◎電池パック（EB-0500）

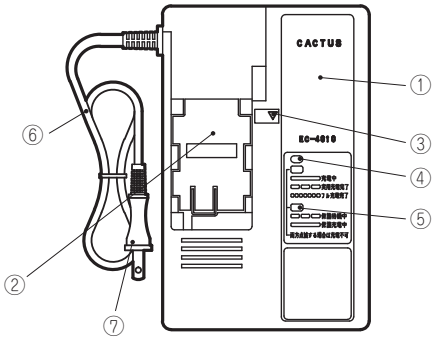


No.	名称
①	フック
②	位置合わせマーク
③	風穴
④	端子部
⑤	パックカバー（別売品）

◎圧着ダイス（ネスト、インデンター）



◎充電器（EC-4010）



No.	名称
①	充電器本体
②	電池パック装着部
③	位置合わせマーク
④	電源ランプ
⑤	充電状態ランプ
⑥	電源コード
⑦	電源プラグ

準備

⚠ 警告

●オイルタンクの底穴をふさがない。
●本体のネジをゆるめない。
規定の油圧力(出力)が出ず、圧着不良や本体の故障のおそれがあります。

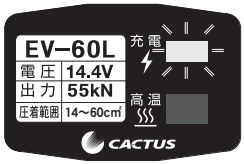
●オイルのにじみがないか確認する。
●使用前に、本体、電池パック、充電器およびアタッチメントやその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。
守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。

●オイルタンクに強い力を与えないでください。
故障のおそれがあります。

お知らせ機能について

電池切れお知らせランプ

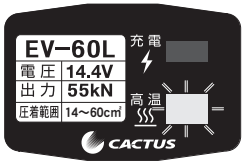
●電池残量が少なくなると過放電防止機能がはたらき、動作が停止します。
操作パネル内の電池切れお知らせランプが点滅します。



すぐに電池パックを充電してください。

高温お知らせランプ

●電池パックが高温になると保護機能がはたらき、動作が停止します。
操作パネル内の高温お知らせランプが点滅します。



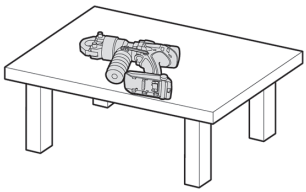
作業を中断し、約30分以上放熱させ、高温お知らせランプが消灯してから使用してください。

また、保護機能がくり返しはたらくような作業は行なわないでください。

●夏場は保護機能が働きやすく、また、冬場は保護機能が働きにくくなります。

ご注意

●ダイスの交換は、作業台などの安定した所に置いて行なってください。
落下してけがのおそれがあります。



充電のしかた

充電のしかた（1）

充電器の電源プラグを電源に差し込む前に、次の事柄を確認してください。

⚠ 警告

- **ぬれた手は、厳禁!!**
  【守らないと】
  感電事故をまねくおそれがあります。

⚠ 注意

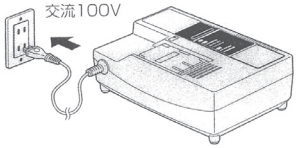
- **電源はＡＣ１００Ｖで!!**
  必ずＡＣ１００Ｖの電源でご使用ください。
- **電源コンセントの点検!!**
  電源プラグを差し込んだとき、ガタガタしたり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

- 充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パック（充電する場所との温度差が15℃以内）を充電してください。
- 電池パックの温度が０℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で１時間以上放置してから充電してください。

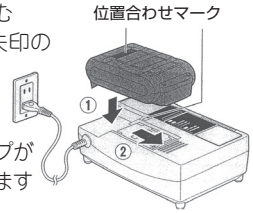
充電のしかた（2）

●お買い上げ時はフル充電されておりません。ご使用前に必ず充電してください。

1.コンセントに電源プラグを差し込む
→電源ランプが点灯します。



2.電池パックを充電器に装着する
装着の手順は、
①充電器と電池パックの位置合わせマークを合わせて差し込む
②底に当たったら矢印の方向に引く
→充電状態ランプが点灯します



充電のしかた（3）

※実用充電とフル充電について

実用充電
フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。充電時間は約38分です。

フル充電
実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくりと充電します。充電時間は約54分です。

3.充電完了後は充電器から電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

■充電時間

	14.4V	充電時間
充電時間	実用充電	約38分
	フル充電	約54分

●充電時間は目安です。周囲の温度や電池パックの状態により異なります。

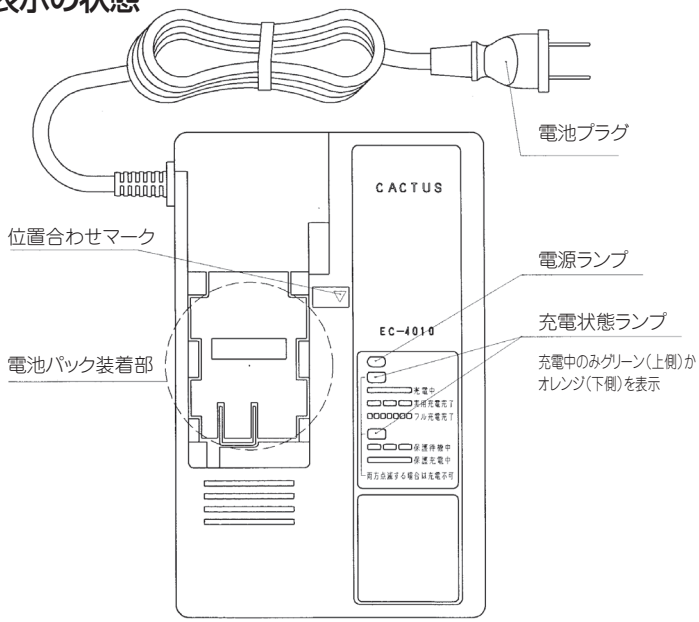
－お願い－
●電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
●電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ、充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。

充電器のランプ表示について

充電器の電源プラグをAC100V電源に差し込むと充電器のランプか点灯・点滅します。

ランプの点灯・点滅は、電池パックの充電中の状態をお知らせします。

◎ランプ表示の状態



点灯　遅い点滅　速い点滅　消灯

充電状態ランプ		充　電　状　態	
グリーン	オレンジ		
━━	○	充電中	
━ ━ ━	○	実用充電完了	
●●●●●●●●	○	フル充電完了	
○	━ ━ ━	保護待機中	電池パックの温度が高いとき(59以上) または低い(-10以下) →電池パック保護のため、充電はおこないません。 →温度が高いとき:電池パックを冷却後、充電します。 →温度が低いとき:電池パックの温度が上がった後に、充電します。 (充電器が0～40℃の場所に設置されていることを確認してください。)
○	━━		電池パックの温度が低いとき(-10～0℃) →電流を下げて電池パックにやさしく充電します。 (0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の50%程度の充電となります。)
●●●●●●●●	●●●●●●●●		電池パックの故障 →別の電池パックに交換してください。

ご使用前の注意

⚠ 警告

●指定の端子・スリーブ以外には使用しない。
圧着不良で火災などの原因になります。

●2本の脱着ピンは確実に差し込む。
本体が破損し、けがのおそれがあります。

●使用中は振り回されないよう本体を確実に保持する。
けがのおそれがあります。

●高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめる。
材料や本体などの落下による事故のおそれがあります。

●本体を雨や水のかかるところで使用しないでください。故障の原因になります。
●使用時に本体側面の風穴をふさがないでください。故障の原因になります。
●本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってからご使用ください。
●高圧線の近くなど、電磁波の多いところでは誤作動をおこす可能性があります。
誤作動がおきた場合は、電池パックを取りはずして再度取り付けてください。

準備

1 圧着する端子・スリーブに合ったダイスを選定する

誤った組合せにするとダイス破損のおそれがあります。

組み合せ表

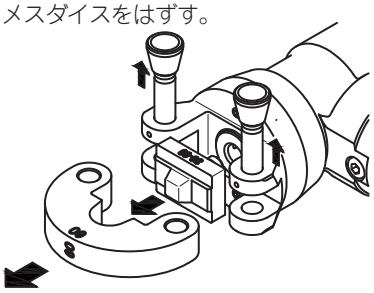
端子･スリーブの呼び	オスダイス	メスダイス
14	14-22	14
22		22-38
38	38-60	
60		60

JIS規格に準じた端子･スリーブを使用してください。

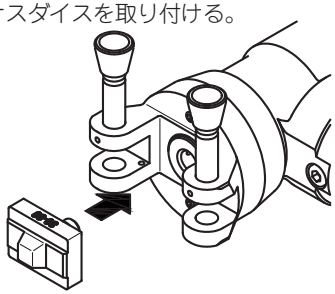
- JIS C 2805銅線用裸圧着端子
- JIS C 2806銅線用裸圧着スリーブ

2 ダイスを交換する

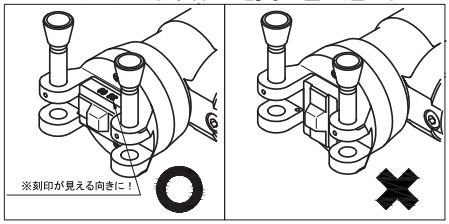
①脱着ピンを引き出し、オスダイス、メスダイスをはずす。



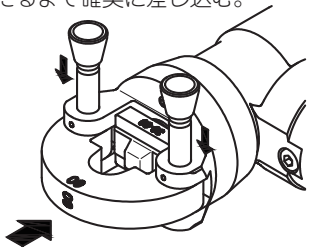
②オスダイスを取り付ける。



※オスダイスは本体に確実に差し込む。

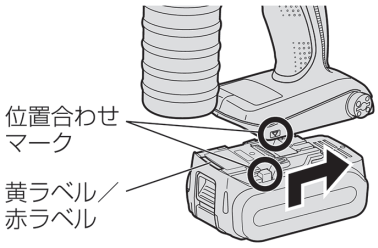


③メスダイスを取り付け、脱着ピンが突き当たるまで確実に差し込む。



3 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける

- 黄ラベル・赤ラベルがみえなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。



操作方法

⚠ 警告

●作業中は可動部に触れない。
けがのおそれがあります。

●通電中の電線には使用しない。
感電のおそれがあります。

●カラ押し操作(部材を入れない状態での圧着動作)はしないでください。本体の寿命に影響します。
(本体を長くお使いいただくためにも定期点検以外はカラ押し操作はしないでください。)

1 ヘッド部を作業しやすい角度に調整する

●ヘッド部を左右に回転させて調整してください。

●ブレーキ作動時に、本体後方の風穴にモーターブラシからの火花が見えますが、故障ではありません。

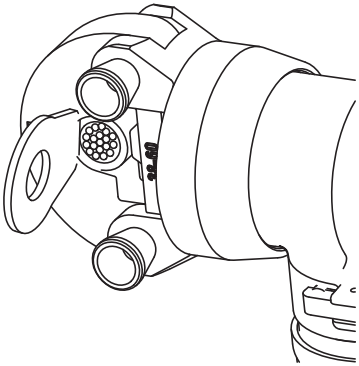
●電池残量が少ない状態で起動すると、電池切れお知らせランプが点滅せずに動かなくなる場合があります。電池残量が不足していますので、電池パックを充電してからご使用ください。

●リチウムイオン電池パックの使用温度範囲は0℃～40℃です。寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

●EV-60Lは10℃以下になると作業条件等により性能がいちじるしく低下します。

2 仮押えした端子・スリーブに電線を差し込む

●心線がわずかに見える位置まで差し込んでください。



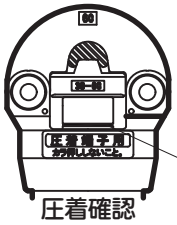
3 スイッチを引き込み圧着を行なう

●スピードコントロールを使わずスイッチを全て押し込んでください。

●ポンプが規定の圧力に達すると「ポン」と確認音がなり圧着完了です。繰り返しても圧着効果はかわりません。

4 圧着状態を確認する

●作業完了後、ピストンロッドに適正な圧着力を示す圧着完了ラインがあらわれているか確認してください。



操作を続けても圧着完了ラインが見えないときは、一旦作業を中止し電池パックを充電してください。
充電後、作業を再開しても圧着完了ラインが見えないときは故障のおそれがあります。
ただちに修理をご依頼ください。
裏表紙参照

⚠ 警告

●圧着完了ラインがあらわれていないときは、作業をすぐに中止し修理に出す。
圧着不良を起こし発熱して火災事故をまねくおそれがあります。

5 リリースレバーを押し込みオスダイスを戻す

●オスダイスの動きが止まったらリリース完了です。
リリースレバーを離してください。

作業終了後に

作業終了後は、次の要領にしたがって保管してください。

1．充電器のプラグを抜いて!!

警告 ⚠	ぬれた手は厳禁!! 【守らないと】 感電事故をまねくおそれがあります。

2．清掃をする!!

泥・水分・ホコリなどをふき取ってください。
モーターケースや充電器は、合成樹脂製ですので、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。金属部分（ポンプ本体など）は潤滑油を含ませた布でふいていただけますとサビの防止に効果的です。

3．ケースに入れて!!

付属の本体収納ケースに入れてください。

- 標準付属品も一緒に収納ケースに入れて保管してください。

4．保管は適切な場所で!!

使用しない工具や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発のおそれがある揮発性物質の置いてある場所
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所

保守・点検

安全にご使用いただくために、保守・点検を必ず行ってください。

警告	**点検・手入れの際は、必ず電池パックを抜いてください!!** **【守らないと】** 思わぬときにモーターが作動し、傷害・ケガの危険があります。

1. オイルのにじみがないかどうか……毎回作業前

ポンプ各部からオイルがにじんでいないかどうか確認してください。にじみがある場合は付着しているオイルを布でふいてください。それでもにじみが発生する場合は修理が必要です。お求めの販売店または最寄りのカクタスの営業所までご連絡ください。

2. 各部品に異常がないかどうか……毎回作業前

工具の各部に割れが発生してないか、ダイスにキズ、打痕、ダレなどがないかその他異常が認められないか確認してください。異常があった場合は使用を止めお求めの販売店または最寄りのカクタスの営業所まで点検・修理にお出しください。

3. 各部品・ねじが確実かどうかの点検……毎回作業前

各部品やねじ類が確実についているか、緩んでいないかどうか点検してください。緩んでいるところがありましたら締め直してください。そのままお使いになりますと、工具の破損につながるばかりか、ケガのおそれがあります。

警告	**点検・手入れの際は、必ず電池パックを抜いてください!!** **【守らないと】** 思わぬときにモーターが作動し、傷害・ケガの危険があります。

電池パックの取扱い･寿命

警告	電池パックを火中に投入しないでください。 【守らないと】 破損したり､有害物質の出るおそれがあります。

長持ちさせるために

・リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずそのまま保管してください。
・熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

電池パックの寿命

寿命の目安/処置
フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは、電池パックの寿命です。
新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池リサイクルについて
この製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済み電池パックを廃棄の際はお買い求めの販売店、または弊社営業所へお返しください。（電池パックは短絡防止のため端子部に絶縁テープを貼ってください。）

本製品の使用電池（セル）
・名称：密閉型リチウムイオン蓄電池
・公称電圧：3.6V/1個
・数量；4個

仕様・標準付属品

※（ご注意）改良のためお断りなく仕様変更することがありますのでご了承ください。

◎仕様

○本体工具部

- ●形　　式：EV-60L
- ●モーター電圧：DC14.4V
- ●公称出力：55kN
- ●圧着範囲：14～60㎟
- ●外形寸法：250（長さ）×230（高さ）×75（幅）㎜
- ●質　　量：3.1kg（電池パック、ダイス含む）

○充電器

- ●形　　式：EC-4010
- ●電　　源：AC100V
- ●消費電力：198W
- ●充電時間：約28分（実用）
- ●質　　量：約960g

○電池パック

- ●形　　式：EB-0500
- ●種　　類：リチウムイオン
- ●電　　圧：DC14.4V
- ●定格容量：4.2Ah
- ●質　　量：570g

◎標準付属品

- ●電池パック　×1
- ●充電器　×1
- ●受ダイス（14・22－38・60・）　×3
- ●押ダイス（14－22・38－60・）　×2
- ●本体収納ケース　×1
- ●取扱説明書　×1
- ●保証書

○別売り（オプション品）

- ●予備用電池パック
- ●補充オイル

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症　　状	考えられる原因	処　　置
動かない。 または動いてもすぐ止まる。 (高温/電池切れお知らせランプが点滅)	電池パックを充電していない。	充電をしてください。
	電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	リリースレバーを押し込んでいる。	故障ではありません。
	電池パックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、電池パックの温度が下がってから使用する。
フル充電しているのに作業スピードが遅い。	温度が低い場所（0℃以下）で保管した本体・電池パックを使用した。	再度充電し、充電完了になってからご使用ください。
スイッチを切ると､停止音がする。	ブレーキの動作音です。	故障ではありません。
フル充電しても作業数が少ない。	ブレーキ作動時のモーターブラシからの火花です。	故障ではありません。
	電池パックの寿命。	新しい電池パックをお買い求めください。
	冷えた電池パック(約 0℃以下)を充電した。	電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し､電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
	電池パックを2か月以上放置していた。 あるいは購入したばかりである。	充電をしてください。
	ダイスが消耗している。	新しいものと交換してください。
圧着した端子・スリーブに圧着マークがしっかり表示されない。	メスダイス刻印部にゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。
	圧着完了ラインが完全に見えない。	充電をしてください。
フル充電しているのに電池切れお知らせランプが点滅する。	急激な負荷の上昇により過放電防止機能がはたらいている。	故障ではありません。 スイッチを入れなおすとランプが消えます。

上記点検をしてもなお異常がある場合、ただちに使用を中止し、
お買い上げの販売店へお持ち下さい。

アフターサービスについて

電池パック・ダイスは保証の対象外です。

保証書について

- 保証書は必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間

- お買い上げの日より６ケ月間です。

修理を依頼されるとき

- サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき再度ご点検の上、なお異常がある場合には、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 保証期間中は、お買い求めの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の記載内容により修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- 故障その他、お困りのときはお買い求めの販売店または最寄りのカクタスの営業所へお問い合わせください。

株式会社　カ　ク　タ　ス

札幌営業所　北海道札幌市豊平区月寒東二条11丁目5番20号　電　話(011)826-3151㈹　〒062-0052
ＦＡＸ(011)826-3155

仙台営業所　宮城県仙台市宮城野区小田原2−2−36　電　話(022)353-5820㈹　〒983-0803
ＦＡＸ(022)353-5821

東京営業所　東京都文京区千石4丁目37番4号　千石コートハウス1F　電　話(03)5940-3671㈹　〒112-0011
ＦＡＸ(03)5940-3679

名古屋営業所　愛知県名古屋市中村区上石川町3丁目3番地1　電　話(052)462-1166㈹　〒453-0835
ＦＡＸ(052)462-1176

大阪営業所　大阪府大阪市西区立売堀1丁目2番12号　本町平成ビル101　電　話(06)6541-1266㈹　〒550-0012
ＦＡＸ(06)6541-6795

福岡営業所　福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目11番11号　電　話(092)473-8366㈹　〒812-0016
ＦＡＸ(092)473-8367

川越センター　埼玉県川越市的場新町２１番地２　日油技研工業㈱川越工場内　電　話(049)237-5366㈹　〒350-1107
ＦＡＸ(049)237-5367